

<平成 29 年 6 月 21 日>

「みんなにやさしい西鉄久留米」を実現するために。



ユニバーサルマナー検定
Universal Manners Test

～久留米初 西鉄久留米駅ビル関係者合同でユニバーサルマナー検定を受講・取得します～

- 西日本鉄道(株)が運営する商業施設「エマックス・クルメ」では、6月23日(金)に、一般社団法人 日本ユニバーサルマナー協会主催“ユニバーサルマナー検定 3級”を受講し、資格を取得いたします。
- 「ユニバーサルマナー検定」とは、“全ての人々が、安心して気持ちよく生活できる社会を創造するべく、自分とは違う誰かの視点に立ち行動すること”をベースに、障害者や高齢者への接し方や考え方を学ぶもので、平成25年8月の検定開始以降わずか4年足らずで、約400社・団体、合計約3万名が受講し、資格を取得しています。
- エマックス・クルメをはじめ、西鉄久留米駅及び西鉄久留米バスセンターを合わせた西鉄久留米駅地区は、一日5万人を超える来訪者がありますが、従業員のスキルアップを図り、来街者の皆さんにより気持ちよく過ごしいただける施設を目指し、同検定を受講することとしました。
- 今回の検定では、エマックス・クルメとそのテナントの従業員だけでなく、西鉄久留米駅ビルに関わる西鉄グループ各社従業員もあわせ約30名が受講いたします。なお、当検定の久留米市内での実施は今回が初となります。
- エマックス・クルメをはじめとした西鉄グループ各社は、今後も、西鉄久留米駅エリアひいては久留米地区全体の魅力向上に寄与するべく、様々な活動に取り組んでまいります。

■「ユニバーサルマナー検定」について

- 【概要】 高齢者や障害者、ベビーカー利用者、外国人、LGBT等、多様な方々と共に生活する現代社会において、“自分とは違う誰かの視点に立ち、行動すること”は、特別な知識ではなく「こころづかい」の一つ。こういった、多様な方々に向き合うためのマインドとアクションを「ユニバーサルマナー」と名づけ、ユニバーサルマナーの実践に必要な要素を体系的に学び、身につけるための検定。障害のある当事者が講師としてカリキュラムを監修し、当事者視点ならではの本当に喜ばれる細やかな配慮を身につけられることが出来るとの評価で、各社、各団体で導入が進んでいる。
- 【主催】 一般社団法人 日本ユニバーサルマナー協会

■西鉄久留米駅ビル関係者「ユニバーサルマナー検定 3級」受講の概要について

- 【実施日】 平成29年6月23日(金)14:00～16:00
- 【場所】 西鉄天神大牟田線 花畑駅構内 会議室 (福岡県久留米市花畑一丁目)
- 【参加人数】 33名 (当日若干の増減が予想されます)
[内訳] 西鉄グループ…7社・23名 / テナント・協力会社…6社・10名
- 【内容】 講師の実体験に基づいて講義を行なっていただき、基本的なお声がけ方法やユニバーサルマナーの知識を座学にて習得します。
- 【講師】 田中利樹氏 [一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会 講師]
1990年福岡県出身。生まれつき視神経に腫瘍があり、右目の視力が全く無い。幼少期から「視覚障害があるからこそ、出来ることがある」という思いを持ち、様々なスポーツやボランティア活動に挑戦。大学時代はアーチェリー部に所属し、キャプテン・トレーナーを務めた。現在は、障害のある当事者講師として、九州を中心に日本各地でユニバーサルマナーの講義や視覚障害者対応等の実技研修講師を務める。

(参考) エマックス・クルメの概要について

- 【開 業 日】 昭和 44 年 3 月 1 日
- 【建 物 構 造】 地上 4 階
- 【延 床 面 積】 14,521 m²
- 【店 舗 数】 35
- 【主 な 店 舗】 にしてつストア、セリア、雑貨館インキューブ、ブックセンタークエスト

(参考) 一般社団法人 ユニバーサルマナー協会の概要について

- 【設 立】 平成 25 年 8 月 6 日
- 【場 所】 大阪府大阪市淀川区西中島 3-8-15 EPO SHINOSAKA ビル 8F
- 【代 表 理 事】 垣内 俊哉
 - ・株式会社ミライロ 代表取締役社長
 - ・日本財団パラリンピックサポートセンター 顧問
- 【活 動 内 容】
 - 1.教育(検定・研修)
 - ・ユニバーサルマナー検定
 - ・ユニバーサルマナーアカデミックプログラム
 - ・LGBT マナー研修
 - 2.情報発信
 - ・専門情報誌「Universal Manners Press」(季刊)
 - ・メールマガジン「ユニバーサルマナー通信」(毎月配信)
 - ・Facebook & Twitter
 - 3.普及活動
 - ユニバーサルマナーを実践する人・企業が一堂に会するシンポジウムや勉強会の開催や、子ども向けの体験型ワークショップなど。一人でも多くの方にユニバーサルマナーを知ってもらい普及活動を実施。